

STEEZ A TW

スティーズ A TW

ハンドルノブS交換可
ソルト対応



飛びと巻き。基本性能を磨きこんだタフに使えるカッチリベイト

コンパクトでタフさも兼ね備えるSTEEZ SV TWの兄弟シリーズ、超高精度スーパーメタルハウジング採用で、アメリカのタフなトーナメントレイルで使い込んでも滑らかで軽い回転性能が持続し、最高レベルの巻き感度をキープし続ける。1000番サイズのスプール幅に合わせたコンパクトTWS搭載により、リール本体のコンパクト化を実現。そしてTWS+超高精度GI MAG-7スプールにより、高速立ち上がりそのままアークラインを放出し、SVコンセプトより高い遠投性能を誇る。ラインキャッチも10lb-100mを確保し、本糸でのタフな釣りを支える。さらにマグシールドBBをピニオン軸に1個配し、高レベルのソルト対応力を実現。バスを中心に世界中のゲームフィッシュに広く対応する。

タフだからこそ感度を実現。清水盛三は『A』を選んだ

2015年秋、16STEEZ最終プロトを仕上げたばかりのDAIWAエンジニア陣は太平洋を渡る。現地ですべての過酷なツアーを終えたばかりのB.A.S.S.エリートコンペティター達、アンディ・モンゴメリー、イッシュ・モンロー、大森貴洋、コディ・メイヤー、セス・フェイダー、プレット・ハイト、プレット・エーラー、宮崎友輔、ランディ・ハウエル、そして清水盛三。錦々たる面子がフィールドテストの開始を待ち受けていた。

「EXCELLENT!!」。関心を強く抱いていたのは、我が国とフィールド事情が似通った西海岸出身のプレット。軽量ルアーでのキャストアキュラシーは特筆だと笑顔で交えて語る。ポードックなど複雑なストラクチャー周りでの戦略を得意とするアンディもしかり。そのスキッピングのしやすさに舌を巻いていたことが思い出される。しかし、誰もがその優れた性能を賞賛する中でただ一人、難色を示す者がいたのも事実だった。

「コンパクトボディは日本人の僕には実にうれしい。ただ…」

清水盛三がその人だ。日本人でも手のひらに収まるサイズが軽快な操作性を実現することは間違いない。飛びと巻きも想像以上の仕上がりがりだという。ただ、やはり彼にとって堅牢性は何よりの及第点。それまでメイン機としていたT.D.ジリオンLD JDリームからコンバートするには、最低限でもフルアルミボディの剛性感は譲れない。翌年、デッキに並ぶことになったのは、コンパクトながらもSTEEZ SV TWより微かにサイズが上回るジリオンSV TWであったことは誰もが知るころだろう。

SVとTWの相乗効果による遠投性能とトラブルレスは、そのコンパクトジリオンを使い込む中で、清水は存分な有効性を実感した。時にSTEEZ SV TWを手にして、同様の感度を得ていたのだという。両者で何が異なるのか。いずれも耐久性に不備はない。ほんのわずかな差だが、サイズが異なるだけで、強く握り込みができるほどに、より安定感のある巻きを実現することは明らかだった。

DAIWAエンジニアは2016年秋、STEEZ SV TWのコンパクト感そのままに200gを切る軽量感を加えたプロトを抱え、再び海を渡る。メインフレームのみならず、サイド&セットプレートのいずれもAluminum仕上げ。高強度であることはもちろん、メイドインジャパンならではの超高精度がそこにある。

「カッチリした剛性感。巻き心地も滑らか。何より巻いている時の感度が期待通り！」世界で戦う日本の男が選んだワールドスタンダード『STEEZ A TW』。

「今後、間違いなく主軸になる。」その誓いが何よりのコンフィデンスだ。

巻きと撃ち揃え、磐石布陣の“A”

「耐久性と堅牢性は何より強い味方。未だピークの状態をキープ」。

2017年の発売に先駆け、STEEZ A TWをプロトから使い込んできたUSツアープロ、清水盛三はこう即答した。年間200日超を北米各地で費やし、尋常でない回数のキャスト&リトリブは無数、度重なるラフウォーターの衝撃にも見舞われる彼の地で1年以上にも渡る酷使を終った結論。世界と戦うサムライ、誰よりも研ぎ澄まされた選択眼が“A”に絶大な信頼を寄せている。

「17ツアーはシーズンインからSTEEZ A TWを帯同した」。

先行発売された6.3と7.1。前者はワイヤーベイト、後者はトップウォーターやジャークベイトなどを軸とした比較的オールラウンダーな2つのギヤー比。確かな握り込みを実現するコンパクトボディ、大型ドライブギヤーによる優れた回転性能は確認済み。しかし、それだけでは清水が得意とする釣りを網羅できていない。実は2018年の発表を見据えたギヤー比5.3の1016-CCと8.1の1016XHは、早くからギヤーを組み替え究極の舞台でテストを繰り返していたのだ。

「指から伝う全ての感度がクランキングには欠かせない」。

絶対的な巻き取りの感覚を求めた5.3。水中から伝達されるノックと触感を認識して、掛ける及び瞬時に繋げる。フルアルミハウジングの高剛性による高感度。親指と人差し指に全神経を集中しハンドルを介して伝達。感度を伝えるのは竿とラインだけではない。

「ワーム全般は勝負が早い8.1。掛けた瞬間のひと巻き目が勝負」。

スラックを速攻で回収してのフッキング。たわみのないボディが力強い巻きに繋げ、瞬時の抜き上げにも貢献。また手返しの速さは、一日中撃ち続けるシーンで「もう1投」を増やし可能性を高める。

「諦めた時点で道具の、全ての進化は止まる。絶対に妥協はしない」。

清水の熱くなき挑戦はまだ始まったばかりだ。

仕様詳細

■ TWS
STEEZ SV TWと同様、中・小口径スプールにマッチした第3世代、コンパクトタイプのターンアラウンド式TWSを搭載。本体の軽量化&コンパクト化にも貢献。

■ 超高精度高精度 スーパーメタルハウジング

ハンドル側セットプレートのみを採用したSTEEZ SV TWIに対して、メインハウジングとサイドプレートもスーパーメタル化。一切ブレのない剛性感がそこに。

- 超高精度G1 MAQ-アスプルー
超軽量かつ高精度なマグフォースZスプルーはTWSとの相乗効果で素早い立ち上がりを実現。高回転を持続して後半の伸びにつなげる。ピッチング時の低張道の伸びも秀逸。
- フラットタイプハイグリップノブ
従来、米国仕様モデルに採用されてきたフラットタイプを採用。表面には指に吸い付くハイグリップコートを施し、安定感のある力強い巻きを実現する。

DAIWA TECHNOLOGY

- TWS
TシェイプレールwindがクラッチON・OFFに応じて半回転する「ターニアラウンドスタイル」のTWSを採用。キャスト時時にはレールwindが前方に回転し、ラインはTシェイプレールwindの幅広部を通してスムーズに放出される。リトリブ時にはレールwindが後ろ方向に倒れる形で半回転し、レールwind下部の溝にラインが誘導され、タイトかつ平行に巻き取られる。飛距離アップ&トラブルフリーの特長はそのままに、タフさにもこだわらる。
- マグシールド
磁性を持つオイルの壁を作ることで海水や埃などの侵入をシャットアウトし、軽く滑らかな初期の回転性能を長期間維持するダイワ独自の防水構造。このテクノロジーを回転性能の要であるボールベアリングそのものに応用した「マグシールドボールベアリング」をベニオンギヤ一部に搭載。ソルトウォーターでの使用も想定して防水性・耐久性・回転性能がさらに向上している。
- ATD
魚の引きに滑らかに追従しながら効き続ける新世代のドラッグシステム。従来よりも滑り出しがスムーズなためラインブレイクしにくく、魚に違和感を与えにくいため無駄に暴れさせることが少ない。フィールドが淡水だけでなくとどまらない本機は世界中のゲームフィッシュに広く対応。ATD搭載により滑らかな作動を実現しつつドラッグMAXも6kgにアップ。ドラッグを出さないファイトにも余裕で対応。ドラッグ引出し音は滑らかさをキープしながら大き目に設定。
- マグフォースZ
マグフォースのマグネット構造はそのままに、スプルーの回転数に応じてインダクトローターが滑らかに作動することで、キャスト前半のブレーキを強く後半を弱くすることが可能となり、伸びのあるキャストフィールが得られる。ブレーキ力の調整のしやすさ、外部環境に対する強さなどが特長の実績のブレーキ機構。

その他の機能・仕様

機能・仕様	特徴
スーパーメタルフレーム	スーパーメタル(高強度アルミ)製のフレームで、リール時のねじれに対する剛性が高く、パワーロスを減少させて力強い巻き取りを可能にする。
リアルプレジジョンズスプルー	誤差はわずか数マイクロという超高精度を誇るこのスプルーが実現したのは、圧倒的な遠投性能。アングラの掌の中で常に静かでブレのない安定した回転性能を発揮して、ルアーをさらに遠くへとプレゼンテーション可能。
スピードシャフト	スプルーフリー時、スプルーとシャフト部を分離し、スプルーをBBのみで支える構造。ロングシャフト構造に比べてシャフトレスになり余分な抵抗がなくなるため、理想的なスプルー回転が得られる。
タフ&リジッドクラッチシステム	精密で耐久性に優れたクラッチシステム。
ソルトバリアタフクラッチ	海での使用時の塩分着着によるクラッチ作動不良を解消する電食防止クラッチシステム。
大径&ロングアームスタードラッグ	中指でスタードラッグを弾いてラインスラックを取る「ワンハンドフリップ」が行いやすい大径&ロングアーム仕様。
ドラッグ調整・引き出しクリック	ドラッグを調整する際だけでなく魚が走ってドラッグが作動した際にクリック音を発する構造。
CRBB数/総BB数	8/8
シャワー洗浄可	流水による水洗いが可能。(洗浄後は取扱説明書に沿ったメンテナンスが必要)

STEEZシリーズ ラインナップ比較

	STEEZ AIR TW	STEEZ CT SV TW	STEEZ SV TW	STEEZ A TW
特徴	新次元ベイトフィネス。超小口径φ28mmAIRスプルー搭載。1g台のフィネスまで可能。	次世代バーサタイル 小型&小口径スプルー搭載のCT(コンパクト&タフ)コンセプト!	進化を続ける極限マシーン!	飛びと巻き。タフに使い込めるカッチリベイト。バス中心にあらゆるゲームフィッシュに広く対応。
軽量ルアー対応力	◎	◎	○	△
遠投性能	△	△	○	◎
アキュラシー性能	○	◎	◎	△
バーサタイル性能	×	◎	◎	△
パワーゲーム対応力	×	△	△	◎
巻き安定感	○	○	○	◎
操作性	◎	◎	◎	○
得意分野ルアー	1g台~ベイトフィネスルアー	6lb~8lb、ベイトフィネス系ルアー&10lb~14lb、バーサタイル系ルアー	3g後半のベイトフィネスルアー~ビックベイトまで守備範囲が広い	クランクベイト、ワイヤーベイト、トップウォーター、ジャックベイト等、カバー撃ちも
価格(¥)	68,000	58,800	59,500	46,400
自重(g)	135	150	160	190
最大ドラッグ力(kg)	3.5	4.5	5	6
標準巻糸量(lb-m): FLUORO/NYLON	6-45、8-45	12-35~70、14-30~60	12-40~80、14-35~70(1012)、 14-45~90、16-40~80(1016)	14-115、16-100
ハンドル長さ(mm)	80	80	90(1012)、 80(1016)	90
スプルー径(mm)	φ28	φ30	φ34	φ34
CRBB数/総BB数	2/12	12/12	12/12	8/8
ブレーキタイプ	エアブレーキシステム	エアブレーキシステム	エアブレーキシステム	マグフォースZ
TWS	●	●	●	●
SVコンセプト		●	●	
超々ジュラルミンスプルー	G1	G1	G1	G1
UTD(アルティメットーナメントドラッグ)	●	●	●	ATD
ハウジング:フレーム材質:Mg	●	●	●	AL
ハウジング:サイドプレート(ギア側)材質:Mg	●	●	●	AL (スーパーメタルハウジング)
ソルト対応		●	●	●

◎:特に秀でてる
○:秀でてる
△:普通
×:やや劣る

スティーズ A TW

品名	巻き長さ (cm/ハンドル1回転)	ギヤ比	自重(g)	最大ドラッグ力(kg)	スプルー寸法 (径mm/幅mm)	標準巻糸量 ナイロン (lb-m)	ベアリング (ボール/ローラー)	ハンドル長さ (mm)	メーカー希望 本体価格 (円)	JAN コード	
1016-CC	56	5.3	190	6	34/24	14-115 16-100	8/1	90	46,400	082075	**
1016L-CC	56	5.3	190	6	34/24	14-115 16-100	8/1	90	46,400	082082	**
1016H	67	6.3	190	6	34/24	14-115 16-100	8/1	90	46,400	082099	**
1016HL	67	6.3	190	6	34/24	14-115 16-100	8/1	90	46,400	082105	**
1016SH	75	7.1	190	6	34/24	14-115 16-100	8/1	90	46,400	082112	**
1016SHL	75	7.1	190	6	34/24	14-115 16-100	8/1	90	46,400	082129	**
1016XH	86	8.1	190	6	34/24	14-115 16-100	8/1	90	46,400	082136	**
1016XHL	86	8.1	190	6	34/24	14-115 16-100	8/1	90	46,400	082143	**

※巻糸量のlb-m表示はTライン(ナイロン)を使用。(14lb=0.31mm、16lb=0.33mm)